

令和5年毒物劇物取扱者試験問題
法規(選択式問題)

- 1 次の文章は、毒物及び劇物取締法の条文の一部である。()に当てはまる正しい字句を下欄から選び、その番号を法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号 1 から 5 の解答欄にマークしなさい。

第三条の三 (問題 1)、幻覚又は麻酔の作用を有する毒物又は劇物(これらを含む)であつて政令で定めるものは、(問題 2)に摂取し、若しくは(問題 3)し、又はこれらの目的で(問題 4)してはならない。

第三条の四 引火性、発火性又は(問題 5)のある毒物又は劇物であつて政令で定めるものは、業務その他正当な理由による場合を除いては、(問題 4)してはならない。

【下欄】

(問題 1)	1 錯乱	2 興奮	3 鎮静	4 陶酔
(問題 2)	1 積極的	2 むやみ	3 強制的	4 みだり
(問題 3)	1 吸入	2 塗布	3 使用	4 散布
(問題 4)	1 販売	2 譲渡	3 所持	4 贈与
(問題 5)	1 爆発性	2 腐食性	3 揮発性	4 刺激性

2 次の文章は、毒物及び劇物取締法施行令の条文の一部である。()に当てはまる正しい字句を下欄から選び、その番号を法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号 6 から 10の解答欄にマークしなさい。

第四十条 法第十五条の二の規定により、毒物若しくは劇物又は法第十一条第二項に規定する政令で定める物の廃棄の方法に関する技術上の基準を次のように定める。

一 (問題 6)、加水分解、酸化、還元、(問題 7)その他の方法により、毒物及び劇物並びに法第十一条第二項に規定する政令で定める物のいずれにも該当しない物とすること。

二 ガス体又は(問題 8)性の毒物又は劇物は、保健衛生上危害を生ずるおそれがない場所で、少量ずつ放出し、又は(問題 8)させること。

三 可燃性の毒物又は劇物は、保健衛生上危害を生ずるおそれがない場所で、少量ずつ(問題 9)させること。

四 前各号により難しい場合には、地下(問題 10)メートル以上で、かつ、地下水を汚染するおそれがない地中に確実に埋め、海面上に引き上げられ、若しくは浮き上がるおそれがない方法で海水中に沈め、又は保健衛生上危害を生ずるおそれがないその他の方法で処理すること。

【下欄】

(問題 6)	1 飽和	2 中和	3 溶解	4 凝固
(問題 7)	1 濃縮	2 稀釈	3 冷凍	4 蒸散
(問題 8)	1 拡散	2 発火	3 揮発	4 蒸発
(問題 9)	1 燃焼	2 拡散	3 稀釈	4 蒸発
(問題 10)	1 五	2 三	3 二	4 一

- 3 次の文章は、毒物及び劇物取締法の条文の一部である。()に当てはまる正しい字句を下欄から選び、その番号を法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号 11 から 15の解答欄にマークしなさい。

第十五条 毒物劇物営業者は、毒物又は劇物を次に掲げる者に交付してはならない。

- 一 (問題 11)歳未満の者
 - 二 略
 - 三 麻薬、(問題 12)、あへん又は覚せい剤の中毒者
- 2 毒物劇物営業者は、厚生労働省令の定めるところにより、その交付を受ける者の氏名及び(問題 13)を確認した後でなければ、第三条の四に規定する政令で定める物を交付してはならない。
- 3 毒物劇物営業者は、(問題 14)を備え、前項の確認をしたときは、厚生労働省令の定めるところにより、その確認に関する事項を記載しなければならない。
- 4 毒物劇物営業者は、前項の(問題 14)を、最終の記載をした日から(問題 15)、保存しなければならない。

【下欄】

(問題 11)	1	十五	2	十六	3	十八	4	二十
(問題 12)	1	大麻	2	指定薬物	3	向精神薬	4	シンナー
(問題 13)	1	職業	2	用途	3	年齢	4	住所
(問題 14)	1	伝票	2	台帳	3	個票	4	帳簿
(問題 15)	1	一年間	2	三年間	3	五年間	4	七年間

4 次の文章で正しいものには[1]を、誤っているものには[2]を、法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号 16 から 25 の解答欄にマークしなさい。

- (問題 16) 毒物又は劇物の製造業者又は輸入業者は、登録を受けた毒物又は劇物以外の毒物又は劇物を製造し又は輸入したときは、30 日以内にその旨を届け出なければならない。
- (問題 17) 一般毒物劇物取扱者試験に合格しても、特定品目を販売する店舗の毒物劇物取扱責任者になることはできない。
- (問題 18) 愛媛県で実施された毒物劇物取扱者試験で合格した場合は、愛媛県以外では毒物劇物取扱責任者となることができない。
- (問題 19) 18 歳未満の者は、毒物劇物取扱責任者となることができない。
- (問題 20) 毒物又は劇物の販売業の登録を受けようとする者は、店舗ごとに、その店舗の所在地の都道府県知事、保健所を設置する市の市長又は特別区の区長を経て、厚生労働大臣に申請書を提出しなければならない。
- (問題 21) 最大積載量が、5,000 キログラム以上の自動車に固定された容器を用いて、液体状の無機シアン化合物たる毒物を含有する製剤を 1,000 リットル以上運送する場合、その運送を請負う者は、事業場ごとに業務上取扱者として届け出なければならない。
- (問題 22) 製造業又は輸入業の登録は、5年ごとに、販売業の登録は、6年ごとに、更新を受けなければ、その効力を失う。
- (問題 23) 特定毒物研究者の許可を受けていれば、毒物又は劇物の製造業の登録を受けていなくても、学術研究のために特定毒物を製造することができる。
- (問題 24) 毒物劇物営業者は、その取扱いに係る毒物又は劇物が盗難にあい、又は紛失したときは、3日以内に、その旨を警察署に届け出なければならない。
- (問題 25) 毒物劇物製造業者が、その製造した毒物又は劇物を、他の毒物劇物販売業者に販売する場合、毒物劇物販売業の登録を受けなければならない。

令和5年毒物劇物取扱者試験問題
法規(記述式問題)

- 1 次の文章は、毒物及び劇物取締法の条文の一部である。正しい語句を法規・基礎化学試験用紙の記述問題番号1から10の解答欄に記入しなさい。

第十四条 毒物劇物営業者は、毒物又は劇物を他の毒物劇物営業者に販売し、又は(問題1)したときは、その都度、次に掲げる事項を書面に記載しておかなければならない。

- 一 毒物又は劇物の(問題2)及び数量
- 二 販売又は(問題1)の(問題3)
- 三 譲受人の氏名、(問題4)及び(問題5)(法人にあつては、その名称及び主たる事務所の(問題6))

第十六条 (問題7)の危害を防止するため必要があるときは、(問題8)で、毒物又は劇物の運搬、貯蔵その他の取扱について、(問題9)の基準を定めることができる。

- 2 (問題7)の危害を防止するため特に必要があるときは、(問題8)で、次に掲げる事項を定めることができる。

- 一 特定毒物が附着している物又は特定毒物を含有する物の取扱に関する(問題9)の基準
- 二 特定毒物を含有する物の製造業者又は輸入業者が一定の品質又は(問題10)の基準に適合するものでなければ、特定毒物を含有する物を販売し、又は(問題1)してはならない旨
- 三 特定毒物を含有する物の製造業者、輸入業者又は販売業者が特定毒物を含有する物を販売し、又は(問題1)する場合には、一定の表示をしなければならない旨

令和5年毒物劇物取扱者試験問題
基礎化学(選択式問題)

1 次の2つの物質の反応により発生する気体を下欄から選び、その番号を法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号 26 から 30の解答欄にマークしなさい。

(問題 26) 硫化鉄と希硫酸

(問題 27) 濃塩酸と二酸化マンガン

(問題 28) 炭酸水素ナトリウムと塩酸

(問題 29) 塩化ナトリウムと濃硫酸

(問題 30) マグネシウムと熱水

【下欄】

1	酸素	2	二酸化硫黄	3	塩化水素	4	硫化水素
5	窒素	6	二酸化炭素	7	水素	8	アンモニア
9	塩素	0	アセチレン				

2 次の物質について、水溶液が酸性を示すものには[1]を、中性を示すものには[2]を、塩基性を示すものには[3]を、法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号 31 から 40の解答欄にマークしなさい。

- | | | | |
|---------|-----------|---------|-------------|
| (問題 31) | 水酸化カリウム | (問題 32) | 硝酸アンモニウム |
| (問題 33) | 炭酸水素ナトリウム | (問題 34) | りん酸水素二ナトリウム |
| (問題 35) | 硫酸銅(Ⅱ) | (問題 36) | 塩化銅(Ⅱ) |
| (問題 37) | 塩化カルシウム | (問題 38) | 硝酸 |
| (問題 39) | アンモニア | (問題 40) | 硫酸バリウム |

3 次の()内に当てはまる最も適当な語句を下欄から選び、その番号を法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号 41 から 45の解答欄にマークしなさい。

周期表の縦の列を「族」と呼び、同じ族の元素は、互いに性質がよく似ているので(問題 41)と呼ばれている。1族元素のうち、H を除く、Li、Na などを(問題 42)という。(問題 42)は、いずれも価電子数は(問題 43)個であり、単体や化合物は特有の炎色反応を示すことが知られている。炎色反応により、Li は(問題 44)を、K は(問題 45)を呈する。

【下欄】

(問題 41)	1	金属元素	2	遷移元素	3	同族元素
(問題 42)	1	アルカリ金属	2	アルカリ土類金属	3	ハロゲン
(問題 43)	1	1	2	2	3	3
(問題 44)	1	赤色	2	黄色	3	紫色
(問題 45)	1	赤色	2	黄色	3	紫色

4 次の記述について、正しいものは[1]を、誤っているものは[2]を、法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号 46 から 50 の解答欄にマークしなさい。

- (問題 46) 物質を構成する最も基本的な粒子が原子である。原子は、中心に原子核があり、原子核は負の電気を帯びた陽子と電気を帯びていない中核子からできている。
- (問題 47) 物質のうち、メタンのように、2種類以上の元素が結合してできている純物質を化合物という。
- (問題 48) 物質のうち、空気のように2種類以上の物質が混じり合ったものを混合物という。
- (問題 49) 酸素とオゾンのように、同じ元素からなる単体で、性質の異なる物質を同素体という。
- (問題 50) 固体が大気中にさらされているとき、大気中の水蒸気を捕まえてその水に溶ける現象を昇華という。

令和5年毒物劇物取扱者試験問題
基礎化学(記述式問題)

1 次の問題について、()内にあてはまる数値を、法規・基礎化学試験用紙の記述問題番号 11 から 15 の解答欄に記入しなさい。

- (1) 20w/v%硫酸水溶液(問題 11)mL と 60w/v%硫酸水溶液(問題 12)mL を混合すると、44w/v%硫酸水溶液 1,000 mL になる。
- (2) 3mol/L の硫酸1L を中和するには、1.5mol/L の水酸化ナトリウム水溶液(問題 13)L が必要である。
- (3) 水(問題 14)g に塩化ナトリウムを 20g 溶かすと、濃度が 12.5%の塩化ナトリウム水溶液となる。
- (4) ある物質は、水 250g に対して摂氏 25 度で 150g まで溶ける。この物質の摂氏 25 度における飽和水溶液の濃度は、(問題 15)%である。(小数第 2 位を四捨五入せよ。)